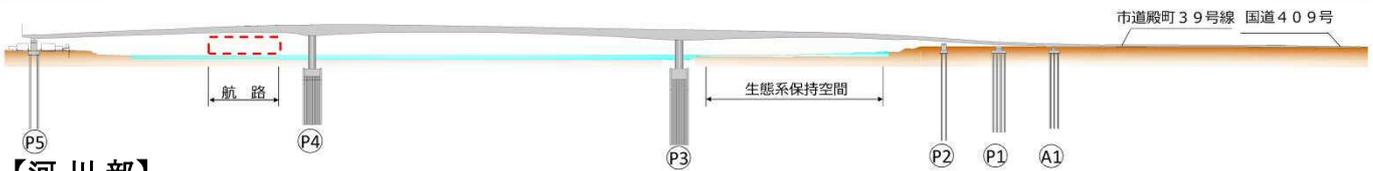


鋼管矢板打設完了

連絡道路の形が見えてきました

羽田空港側

殿町側



【河川部】

P3橋脚の鋼管矢板打設完了をもちまして、本橋を支える河川内基礎部（鋼管直径1.2m、鋼管延長 約50~60m/本、総延長 約7.0km）の設置が完了しました。近隣にお住いの皆様におかれましては、打撃音につきまして開始した4月から長期間に渡り大変ご迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。

多摩川の中に連絡道路の一部であるP3橋脚、P4橋脚の基礎が姿を現してきました。



河川内作業状況（羽田側から殿町側を望む）



P3橋脚 鋼管矢板打設全景

【陸上部】

国道409号線とつながる擁壁構造物の構築が進み、道路の形が少しずつ現れてきました。

橋梁部は、A1橋台のコンクリート打設が完了し、P2橋脚は構造物の構築を始めたところです。

引き続き、躯体の構築を進めていきます。



擁壁部（殿町側から羽田側を望む）



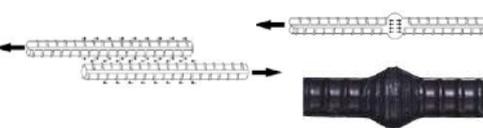
殿町39号線交差点部（多摩川側から国道409号側を望む）

【土木豆知識③】 鉄筋の継手

橋梁の下部工や擁壁の構造物は鉄筋コンクリート構造物といわれるものです。鉄筋コンクリートとは圧縮（つぶれにくい）に強いコンクリートと引張に強い鉄筋のお互いの長所を組み合わせた耐久性の高い構造で、多くの構造物に採用されています。その鉄筋ですが、構造物をつくるときは何本もの鉄筋をつなぎ合わせています。つなぎ合わせ部分を「継手」といい、大半は鉄筋同士を重ねてつなぐ「重ね継手」が採用されています。しかし、構造物が大型化し、使用する鉄筋の径が大きくなると継手部の体積が大きくなり、逆に構造物の耐久性が弱くなることから、鉄筋をガスの熱で溶かしてつなげる「ガス圧接継手」、溶接でつなげる「溶接継手」や金具で連結する「機械式継手」などが採用されています。この現場では、擁壁部は「重ね継手」、河川部の橋脚は「重ね継手」と「機械式継手」を採用しています。



重ね継手



ガス圧接継手



溶接継手



機械式継手

全国3か所で橋梁の鋼桁を製作

P3,P4橋脚柱頭部の製作が全盛期

橋梁本体の桁の製作が日立造船(株) 向島工場(広島県尾道市)、(株)横河ブリッジ 大阪工場(大阪府堺市)および高田機工(株) 和歌山工場(和歌山県海南市)で開始しました。現在は、橋脚上部に設置する柱頭部と呼ばれる部分の製作を中心に行っています。使用する鉄板の最大厚さは約10cmと極厚で、組立には熟練の技術と多くの労力が必要となります。使用する鉄板の見本がPR館に展示してありますので一度見学にいらしてください。今後、組立の進捗は羽連だよりでご紹介する予定です。



鉄板切断状況



鉄板継全景



鋼桁組立状況

夏の科学イベントに出展

約350名の来場者で大盛況

8月1日(水曜日)の午後にキングスカイフロント地区で開催されました「夏の科学イベント 2018」に川崎市建設緑政局と五洋JVで出展しました。会場は工事広報館および駐車場スペースで、コンクリート工作体験と建設機械の試乗を行いました。コンクリート工作はセメントを実際に練って型に入れて、デコレーションしてもらいました。建設機械の試乗は高所作業に乗って、建設状況を高いところから見てもらいました。本会場には科学イベントに参加頂いた約2500人のうち、小学生を中心に約350名の方に参加して頂き、大盛況でした。



コンクリート工作状況



建設機械試乗状況



建設機械試乗状況

【多摩川河口干潟の生き物③(マハゼ)】

秋の風物詩であるマハゼ釣り。多摩川でも多くの方が、川べりで竿を出してのんびりと釣りを楽しむ姿が見られます。マハゼ釣りは江戸時代の庶民にとって大切な娯楽で、江戸前の「ハゼの天ぷら」のネタとしても古くから親しまれてきた魚です。東京湾内湾の干潟で最も優占する魚種の1つであり、1月~5月頃になると水底に1.3~3mの巣穴を掘り卵を産みつけます*。多摩川河口干潟でも、春先に波打ち際に3~4cmの稚魚が集まる様子が見られます。

マハゼ釣りの仕掛けはちょい投げ、ミャク釣り、浮き釣り...と様々な釣り方がありますが、ちょい投げは簡単なので、初心者の方にもお勧めです。ぜひ、心地よい秋風を感じながら、多摩川での釣りを楽しんでみてはいかがでしょうか。

*出典：東京湾の魚類 河野博監修,平凡社



お問合せ先



川崎市建設緑政局広域道路整備室
羽田連絡道路建設担当

住所：〒210-0821

川崎市川崎区殿町3丁目25-25

電話：044(200)0436

FAX：044(288)1782

<http://www.city.kawasaki.jp/530/page/0000097966.html>



五洋・日立造船・不動テトラ・横河・
本間・高田共同企業体(五洋JV)

住所：〒210-0821

川崎市川崎区殿町3丁目25-24

電話：044(201)9381

FAX：044(201)9382

<http://www.poc-site.jp/kb/tonomachi/>